機械設備工事　特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　花巻警察署石鳥谷交番新築工事
2．工事場所　岩手県花巻市石鳥谷町好地7 地割２０８－２、３、４
3．建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令（別表）	備考
建築特記仕様書参照					

4．工事種目（〇印のついたものを適用する）

建物別及屋外 ／ 工事種目	屋内	屋外	工事種別						備考
⊙ 空気調和設備	⊙	・							
・冷房 〃	・	・							
・暖房 〃	・	・							
⊙ 換気 〃	⊙	・							
・排煙 〃	・	・							
・自動制御 〃	・	・							
⊙ 衛生器具 〃	⊙	・							
⊙ 給水 〃	⊙	⊙							
⊙ 排水 〃	⊙	⊙							
⊙ 給湯 〃	⊙	・							
⊙ 消火 〃	⊙	・							
・厨房機器 〃	・	・							
⊙ ガス 〃	⊙	・							
・し尿浄化槽 〃	・	・							

5．設備概要（〇印のついたものを適用する）

項目	区分	内容
空気調和方式等	⊙ 空気調和	・全空気方式　・ファンコイル　・ダクト併用方式
		⊙ パッケージ方式
	・温風暖房	・温風暖房機　・空気調和機
		・全空気方式　・ファンコイル　・ダクト併用方式
	・直接暖房	・蒸気暖房　・温水暖房
給水方式	⊙ 水道直結方式　・高置タンク方式　・加圧送水方式	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・合流式）	
	放流先　汚水	⊙ 下水道直接放流　・し尿浄化槽
	雑排水	⊙ 下水道直接放流　・し尿浄化槽　・側溝
給湯方式	⊙ 局所式　・中央式	
消火設備方式	・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓　・スプリンクラー装置	
	・二酸化炭素消火　・連結散水装置　・粉末消火　・泡消火　・その他	

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２５年版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２５年版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成２５年版）による。

2．特記仕様

1）項目　番号に〇印のついたものを適用する。
2）特記事項　⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

章：一般共通事項

① 適用基準等
工事写真：工事写真の撮り方　建築設備編（建設大臣官房官庁営繕部監修）（改定第3版）
色等の指示：色等は、監督員の指示による。

2．電気保安技術者
工事現場におく電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。

③ 技能者
⊙ 配管施工技能士　・熱絶縁施工技能士　・塗装施工技能士
・冷凍空気調和機器施工技能士　・建築板金施工技能士

④ 機材
本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及び性能を有するものとするほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督員の承諾を受ける。

⑤ 機材等の検査及び試験
検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。

⑥ 工事用の電力・水・その他
工事用仮設電力・水等の費用、官庁署等への諸手続等の費用、及び本電源受電後引渡し又は、使用開始までの電気料金は、関係各請負業者において協議の上負担すること。

⑦ 足場その他
※別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は、無償で使用できる。
・本工事で定置する。

⑧ 工事用仮設・工事用駐車場・資機材置場
⊙ 構内に作ることが　・出来る　・出来ない
⊙ 構内に駐車　・出来る　・出来ない
⊙ 構内に作ることが　・出来る　・出来ない

9．残土処理
※ 構外搬出適切処理　・構内指示の場所　・構内指示の場所にたい積

10．発生材の処理
イ）引渡しを要するもの　※ なし　・あり（　　）
ロ）特別管理産業廃棄物　※ なし　・あり（　　）
ハ）上記イ）ロ）以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。
ニ）現場において再利用を図るもの
現場における分別一保存材は、機器・配管・ダクト等と分別する。
ホ）本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

⑪ 総合調整
各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行う。
・風量調整　⊙ 水量調整　⊙ 室内外空気の温湿度測定
・室内気流及び塵埃の測定　・騒音の測定　・初期運転状態の記録
・機器の絶縁抵抗の測定

⑫ 容量の表示
イ）電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。
ロ）冷温熱源機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上とする。
ハ）電源の周波数は、５０Ｈｚとする。

⑬ 耐震施工
耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修２００５年版）による。

設置場所	設計用標準水平震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中間階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
１階及び地階	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）

注1）設置場所の区分は標準仕様書による。
注2）（　）内の設備は防震支持の機器の場合に適用する。
イ）本工事の施設は、（※一般の施設　・特定の施設）とする。
ロ）地域係数は、１．０とする。
ハ）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
ニ）重要機器類（高架タンク、受水タンクは機器表による。）

14．はつり
既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

⑮ 他工事との取り合い
イ）端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。
ロ）機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側電気工事は全て　※ 別途　・本工事
ハ）機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て
ニ）全てのスリーブ入れ及び箱入れは　※ 本工事　・別途
ホ）スリーブ及び箱入れの補強工事は　※ 本工事　・別途
（※ 本工事　・別途）
ヘ）天井、壁のボード類（軽量鉄骨も含む）の穴明け及び下地切込みは　※ 本工事　・別途

⑯ 手続き
官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議のうえ、請負者が代行処理する。

17．予備品等
ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する。（種別ごと最低1個）

18．配管の建物導入部の変位吸収
建物導入部の変位吸収は標準図（施工４）による。
対象管　・給水管　・ガス管　・油管

⑲ 管周囲の保護砂（埋戻し土，盛土）
イ）管周囲の保護　⊙ 山砂
ロ）埋戻し土　・山砂

⑳ 地中埋設標及び埋設表示用テープ
地中埋設標及び埋設用テープは、下記による。
イ）給水管地中埋設標（※要　・不要）　埋設表示用テープ（※要　・不要）
ロ）ガス管地中埋設標（※要　・不要）　埋設表示用テープ（※要　・不要）
ハ）油　管地中埋設標（※要　・不要）　埋設表示用テープ（※要　・不要）

21．絶縁フランジ取付箇所
図示による。

㉒ 弁等のサイズ
特に明記のない弁等のサイズは、接続配管サイズに同じ。

㉓ 試験
凍結の恐れのある水道管、冷温水管等の一部施工時の気密試験については、水圧試験を空気圧試験に代ることが出来るが、完成時まで水圧試験を実施すること。

㉔ その他
イ）電気設備工事及び建築工事は、各特記仕様書による。
ロ）本工事に使用する鋳鉄製マンホール蓋には、県（市町村）章を入れること。
ハ）本工事完成1年後に経年検査を行うこと。

㉕ 保険
本工事の請負者は、工事期間中工事目的物及び工事資材に対して、下記により組立保険に加入し、その保険証書の写しを監督員に提出する。

加入金額	請負金額の１００％
加入時期及び期間	工事完成６０日前から完成後３０日まで

㉖ 完成時提出書類
⊙ 監督員指示による

書類名		内容	規格	部数	備考
・完成図	図面	・青焼施工図　・青焼修正設計図	・Ａ４版　・２つ折製本	・１　・２　・３　・	製作図．関係官公署．検査済証写試験成績表を一括ネジ止め製本　１冊の厚さは１０cm程度とし、裏表紙の前にクラフト封筒添付
	表紙	・金文字入黒表紙　・市販ファイル			
・工事用	写真	カラー	サービス版	・１　・２　・	撮影場所及びその説明を記載する　工事写真の撮り方による　デジタルカメラも可とする。（注）
	表紙	市販工事写真帳	Ａ４版		
・完成用	写真	カラー	サービス版	・１　・２	撮影場所及びその説明を記載する　工事写真の撮り方による　デジタルカメラも可とする。（注）
	表紙	・市販工事写真帳　・フリーアルバム	Ａ４版		
・実態調査用	写真	カラー	サービス版	・１　・２　・	撮影場所及びその説明を記載する　デジタルカメラも可とする。（注）ただし、仕様については監督員と協議すること
	表紙	市販工事写真帳	Ａ４版		
・保守管理案内書		使用者が容易に理解できるもの	Ａ４版ファイル	・１　・２	専門的取扱説明書は完成図にとじ込む
・材料検収簿		主要材料	Ａ４版ファイル	・１　・２	補助監督員が認印したもの
・原図、陰画、原稿		・提出しない　・提出する	・原図　・陰画　・原稿		原図の提出は原則として、シートファイルに入れて納品する

㉗ 完成時提出書類に係る電子納品適用の有無
・有り
電子納品対象図書の納品方法及び部数等は、電子納品実証実験対象工事特記仕様書によること。
（電子納品する成果品については、紙による提出は不用であること。）
・無し　26．による。　⊙ 監督員指示による

㉘ 工事実績情報の登録（工事カルテ）
・適用する
⊙ 監督員指示による

章：暖房・冷房・空気調和設備

1．温湿度調整目標値

	外気 温度	外気 湿度	室内（目標値）一般系統 温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	備考
冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	
	（DB）	（RH）	（DB）	（RH）	（DB）	（RH）	（DB）	（RH）	

2．ばい煙濃度計　・取付ける　・取付けない
3．ばいじん量測定口　※ 取付ける（測定口８０　フランジ止）　・取付けない
4．煙突　※ 別途　・本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上）
5．煙道　※ 鋼板厚３００以下は３．２mm、３００を越えるものは４．５mmとする。
・図示による（４１０以上の煙道には、掃除口に蝶番を取付ける）
6．ダクト　※ アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド）
※ 低速　・スパイラルダクト
7．風量測定口　取付け場所は図示による。取付け面は監督員の指示による。
8．防煙ダクト　復帰方式　※ 遠隔式（電動式（定格入力ＤＣ２４Ｖ０．５Ａ以下））
※ 順送り　・同時
9．防火ダンパ　図示のＦＶＤとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調節機構は、段階的調節機構とする。
10．定量ユニット　・メカニカルタイプ　・風速センサータイプ

⑪ 配管材料
イ）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・配管用炭素鋼鋼管（黒）
ロ）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）
ハ）蒸気管　給気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・圧力配管用炭素鋼鋼管
　　環水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・圧力配管用炭素鋼鋼管
ニ）油管、油用通気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
ホ）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への給水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）
ヘ）空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙ ビニル管（ＶＰ）
ト）冷媒管　※ 銅管　⊙ 断熱材被覆銅管（２０mm）

12．弁類　※ ＪＩＳ５ｋｇｆ／cm2　・ＪＩＳ１０ｋｇｆ／cm2
13．鋼管用伸縮管継手　※ ベローズ形　・スリーブ形
14．温度計　標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。（配管用はL形、ダクト用は丸形）
イ）空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、環気ダクト及び外気ダクト
ロ）冷温水ヘッター（注）及び冷温水ヘッターの各環り管
ハ）パッケージ形空気調和機の冷却水出口

15．瞬間流量計及び測定用タッピング（３２mmピトー管流量計用）
イ）冷凍機又は冷温水発生機の冷水出口
・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）
・タッピングを取付ける
ロ）冷凍機又は冷温水発生機の冷却水出口
・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）
・タッピングを取付ける
ハ）ボイラー又は熱交換器の温水出口
・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）
・タッピングを取付ける
ニ）空気調和機の冷温水入口
・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）
・タッピングを取付ける
ホ）冷温水ヘッターの各送り管
・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）
・タッピングを取付ける

16．オイルタンク
イ）遠隔油量指示計　※ 取付ける　・取付けない
ロ）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、１００ｌ実測目盛印とする。計量口は錠付きとする。

17．積算油量計　※ 取付ける　・取付けない

18．消音内貼り
イ）施工箇所は図示による。
ロ）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。

⑲ 保温
イ）建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁（弁含む）までとし、仕様は冷温水管の項による。
ロ）屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。
ハ）外気取り入れダクトの保温を　※ 行う　・行わない
ニ）屋外の冷媒管の保温外装は　⊙ 化粧ケース（樹脂製）とする。
ホ）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚　mmとする。

20．電気工事の範囲
イ）地震感知器の配管配線は　※ 別途　・本工事
ロ）防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御器から煙感知器までの配管配線は　※ 別途　・本工事

21．カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト
※ 亜鉛鉄板製
・自己消火性のポリスチレンフォーム製

換気設備

1．準用事項　・暖房　・冷房　・空気調和設備の当該事項に準ずる。
・７　・８　・９　・１０
② ダクトの工法　※ アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド）
⊙ スパイラルダクト
3．厨房用フード（・一重　※ 二重）としてフードコック（※ 有　・無）とする。
④ 保温
イ）外気取り入れダクトは保温する。ただし、送・排風機は除く。
ロ）全熱交換器に接続するダクトは、保温を行う。
ハ）外壁より１ｍ部分の排気ダクト及び浴室排気ダクトは、保温を行う。

排煙設備

1．ダクト　・亜鉛鉄板製　・鋼板製（１．６mm以上）
2．排煙口開放装置　・手動式（・ワイヤー式　・電気式）
・手動及び遠隔操作可能なもの
3．排煙風量測定方法　排煙風量を測定する場合はＪＩＳ　Ａ　４３０３の排煙設備検査基準４．２．１（２）（Ｃ）による。
4．排煙口の形式　・可動羽根（スリット共）　・可動パネル

自動制御設備

1．中央監視制御　・あり　・なし
2．中央監視制御の構成機能　図示による。
3．その他　室内温湿度検出器等を２個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。

衛生器具設備

1．大便器洗浄弁　・不凍結節水弁付とする。
② 大便器洗浄用タンク　※ 防露形ロータンク（⊗ 手洗いなし　⊙ 手洗い付）
3．小便器洗浄装置　※ 押ボタン式（不凍結節水弁付）　・節水装置
4．小便器洗浄ハイタンク　※ 防露形（※ 露出　・いんぺい）
5．小便器洗浄管　※ 埋込　・一部埋込　・露出
6．付属水栓　吊りこま式（節水こま式）とする。実験器具用は除く。
7．注記板　大便器及び小便器の壁に取付ける　・陶器製　・樹脂製
⑧ 自動水栓　電源供給方法（※ ＡＣ１００Ｖ　・乾電池）

給水設備

① 量水器　親メーターは　※ 借用　・買取り
子メーターは　※ 買取り
② 量水器桝
イ）親メーター用　⊙ 水道事業者の指定品　・標準図（機材　５５）
ロ）子メーター用　・標準図（機材　５５）　・水道事業者の指定店
③ 配管材料
イ）一般用
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）　⊙ ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＢ）
〃（ＳＧＰ－ＶＢ）　〃（ＳＧＰ－ＦＰＢ）
〃（ＳＧＰ－ＦＶＡ）
〃（ＳＧＰ－ＦＶＢ）
ロ）地中用（屋内地中も含む）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）　・ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）
〃（ＳＧＰ－ＦＶＤ）　〃（ＨＩ ＶＰ）
⊙ ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）　⊙ ポリエチレン管（ＪＩＳ　Ｋ　６７６２）
〃（ＳＧＰ－ＦＰＤ）　・水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管
④ 散水栓ボックス　※ 鋳鉄製　・ステンレス製（・鍵付　・鍵無）
⑤ 弁類　水道直結部分　※ ＪＩＳ　１０ｋｇｆ／cm2
高置水槽以降　※ ＪＩＳ　５ｋｇｆ／cm2・ＪＩＳ　１０ｋｇｆ／cm2
⑥ 給水栓　・一般水栓　⊙ 耐寒水栓
⑦ 埋設深さ　※ 一般敷地内（０．６　m以上）　・敷地内車輌道路（０．８　m以上）
※ 公道部分（※水道事業者及び道路管理者規定による）
8．埋設弁開閉用ハンドル　本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）
・含まない
⑨ 保温
イ）量水器桝内の保温を行う。
ロ）屋外配管（弁、フランジ類を含む）は、共通仕様書第2編２．３．５表e３（ハ）、厚さは、呼び径２５mm以下のものは５０mm、呼び径３２mm以上のものは４０mmとする。
⑩ 水道加入金等　水道加入金　⊙ 要（⊙ 本工事　・別途工事）　・不要
⑪ その他　給水管の最小口径は２０mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

排水設備

① 配管材料
イ）屋内汚水管
・排水用塩ビライニング鋼管　・コーティング鋼管　・メカニカル形排水鋳鉄管
⊙ ビニル管（ＶＰ）　・鉛管
ロ）屋内雑排水管
・配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙ ビニル管（ＶＰ）　・排水用塩ビライニング鋼管
ハ）屋外汚水、雑排水管
・ヒューム管（１種B形）　⊙ ビニル管（ＶＵ）　・コーティング鋼管
・配管用炭素鋼鋼管（白）
ニ）通気管、空調用排水管
・配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙ ビニル管（ＶＰ）
2．満水試験継手　・取付けない　・図示した箇所に取付ける
③ 別途流し　トラップは（⊙ 別途　・本工事）　立管は本工事
④ 試験　排水管は、衛生器具などの取付け完了後煙試験又は通水試験を　※ 行う　・行わない
5．放流負担金　・不要　・要（・別途工事　・本工事）

給湯設備

① 配管材料　⊙ 給湯用塩ビライニング鋼管　・銅管　・被覆銅管　・保温付被覆銅管
② 弁類　給水設備の当該事項による。
③ 湯沸器回り配管　機器に接続する給水管、給湯管は銅製又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してよい。
4．湯沸器の排気筒　※ 本工事（厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製）　・別途
5．保温　湯沸器排水筒の保温は　※ 行う　・行わない

消火設備

1．配管材料
イ）一般
・配管用炭素鋼鋼管（白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＣｈ４０）
・圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（ＳＣｈ８０）
ロ）地中埋設部
・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）　・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ）
2．消火栓開閉弁　・ＪＩＳ　１０ｋｇｆ／cm2　・ＪＩＳ　２０ｋｇｆ／cm2
3．保温　屋外露出管については給水管に準ずる。
4．２号消火栓の圧力損失　ｋｇｆ／cm2　以下

厨房機器設備

1．厨房機器類　・本工事　※ 別途工事
2．付属制御盤　器具付属の制御盤は、製造者規格品とする。

ガス設備

① ガスの種類　・都市ガス（発熱量　ｋＣＡｌ／m2）　都市ガス供給業者（　　）
⊙ 液化石油ガス（１２，０００　ｋＣＡｌ／Ｋｇ）
② 配管材料
イ）一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙ ポリエチレン被覆鋼管
ロ）地中埋設部　・ガス用ポリエチレン管　・ポリエチレン被覆鋼管
3．都市ガス
イ）ガスメーター
親メーターはガス供給事業者より借用
子メーターは買取りとする。
ロ）引込み負担金　・不要　・要（・別途工事　・本工事）
④ 液化石油ガス
イ）ガスボンベは　※ 借用　・買い取り
（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　⊙ ５０ｋｇ　２本）
ロ）ガスメーター
親メーターはガス供給事業者より借用
子メーターは買取りとする。
ハ）転倒防止用の鎖は　※ 本工事　・別途工事
ニ）転倒防止装置は　・本工事とし施工要領は標準図（施工　７３）による。
⑤ ガス漏れ警報遮断装置　・本工事　⊙ 別途工事
図示の場所に　・取付ける（・分離形　・一体形）
外部出力端子（・あり　・なし）
6．埋設深さ　※一般敷地内（　m以上）　・敷地内車輌道路（　m以上）
・公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）

し尿浄化槽設備

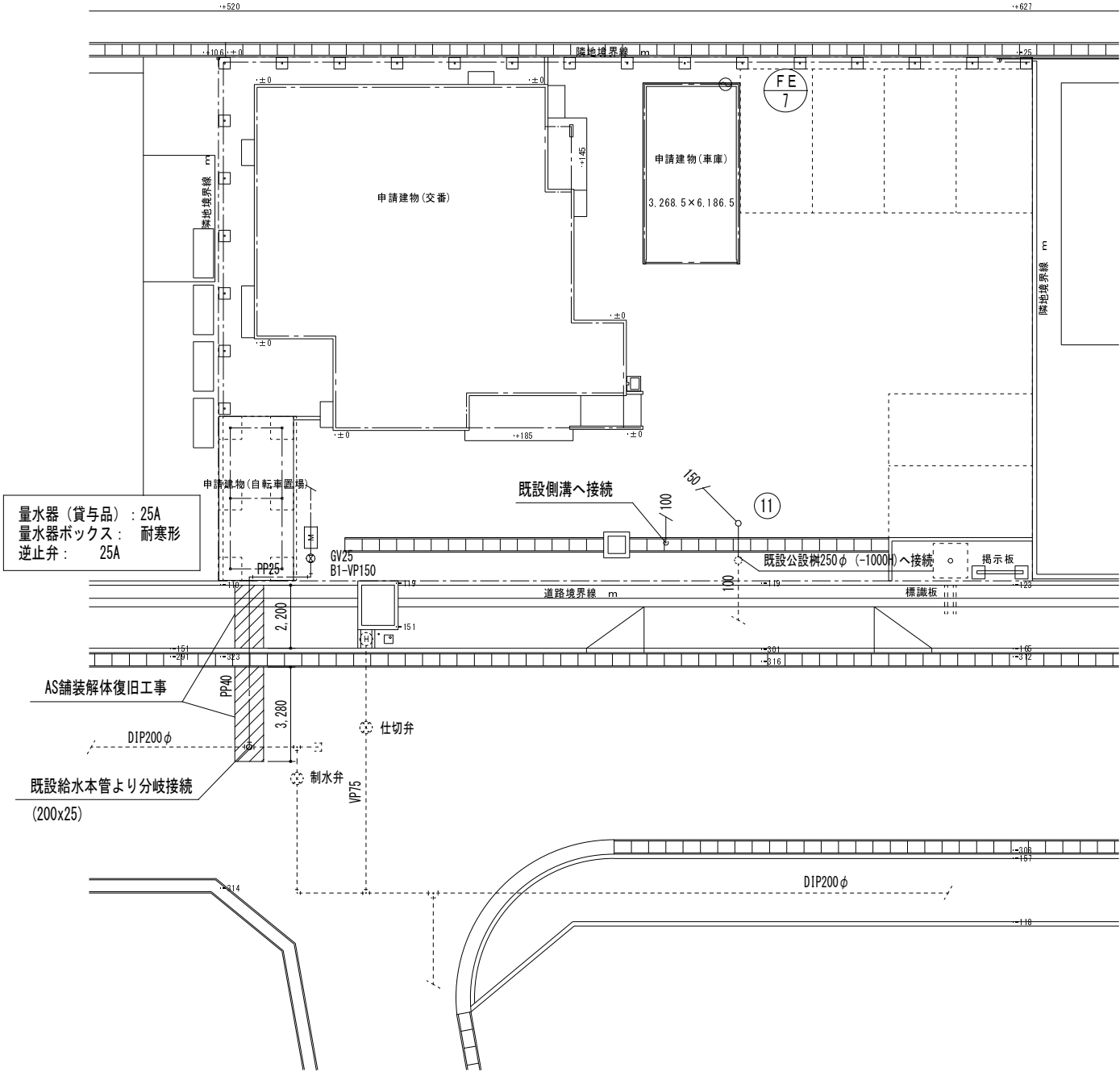
1．処理能力　図示による。
2．放流水質　図示による。
3．処理方式　図示による。
4．主要構造　図示による。
5．制御盤　※ 制御盤には漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。
・製造者標準品とする。
6．消毒剤　３０日分を納入する。
7．維持管理　※ 使用開始後請負者において1年間維持管理すること。（放流水の水質検査書を提出する）
・一定期間定常状態において使用後、放流水の水質検査書提出すること。

※防食工事
土中埋設鋼管には、ペトロラタム系防食テープをハーフラップ1回巻きの上、防食用用プラスチックテープをハーフラップ1回巻きとする。
被覆鋼管も同様とする。

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	機械設備　特記仕様書	----	機械設備	M01

排水桝表

番号	仕　　様	深　さ	蓋	勾　配
1	90Ｌ　150-200	-550	塩ビ製	1.5%以上
2	90Ｙ　150-200	-560	塩ビ製	1.5%以上
3	90Ｙ　150-200	-580	塩ビ製	1.5%以上
4	90Ｌ　150-200	-670	塩ビ製	1.5%以上
5	45Ｌ　150-200	-765	塩ビ製	1.5%以上
6	45Ｌ　150-200	-810	Ｔ-8	1.5%以上
7	90Ｙ　150-200	-825	Ｔ-8	1.5%以上
8	90ＹＳ　150-200	-840 -870	Ｔ-8	1.5%以上
9	45Ｌ　150-200	-910	Ｔ-8	1.5%以上
10	45Ｙ　150-200	-930	Ｔ-8	1.5%以上
11	45Ｌ　150-200	-980	Ｔ-8	1.5%以上
12	90Ｌ　150-200	-550	塩ビ製	1.5%以上
13	90Ｙ　150-200	-560	塩ビ製	1.5%以上
14	45Ｌ　150-200	-650	塩ビ製	1.5%以上
15	45Ｌ　150-200	-730	塩ビ製	1.5%以上
16	ＳＴ　150-200	-810	塩ビ製	1.5%以上

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	配　置　図	A2=1:150	機械設備	M02

空調設備　機器表

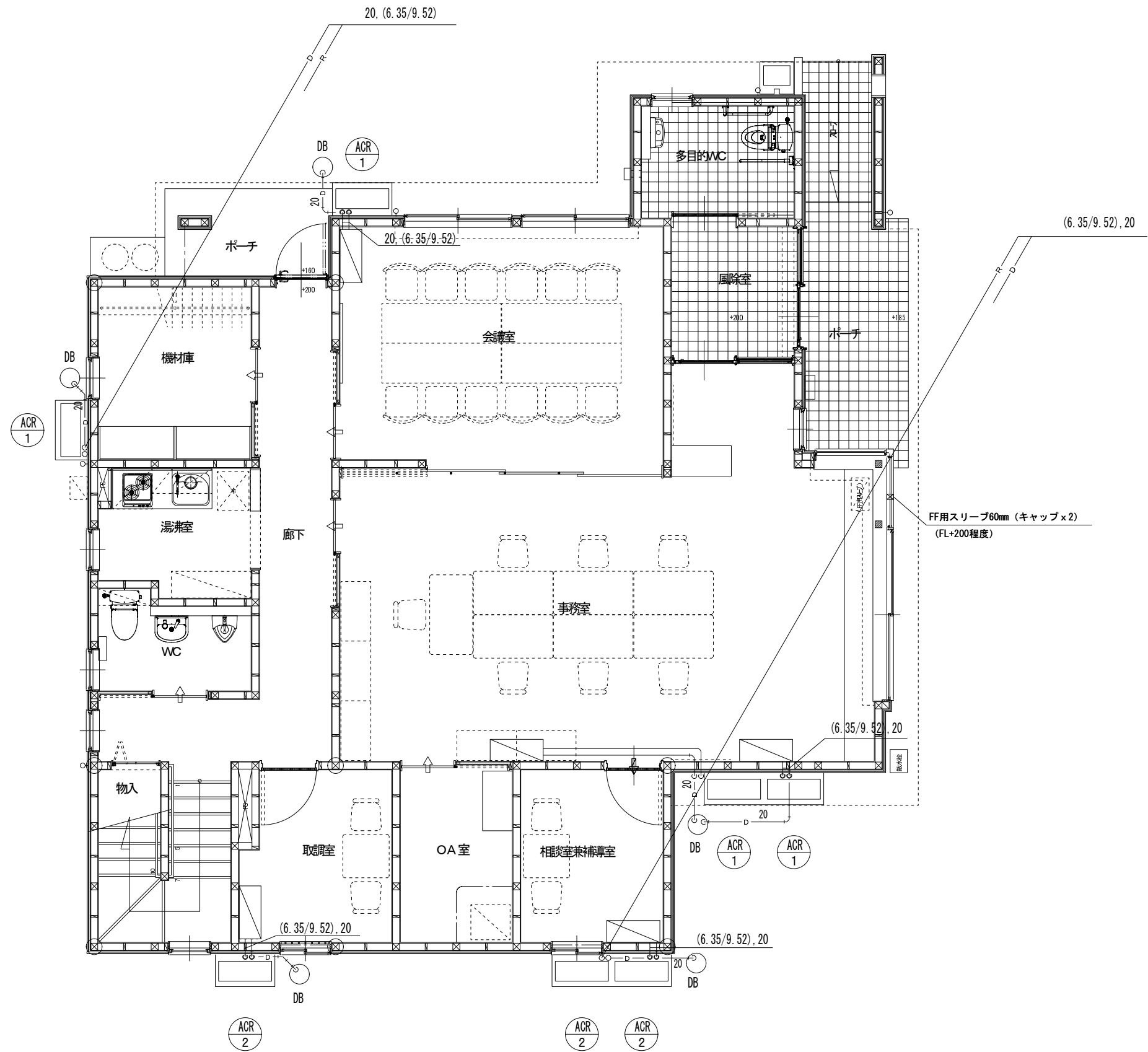
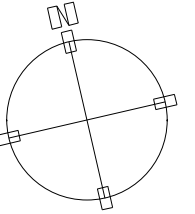
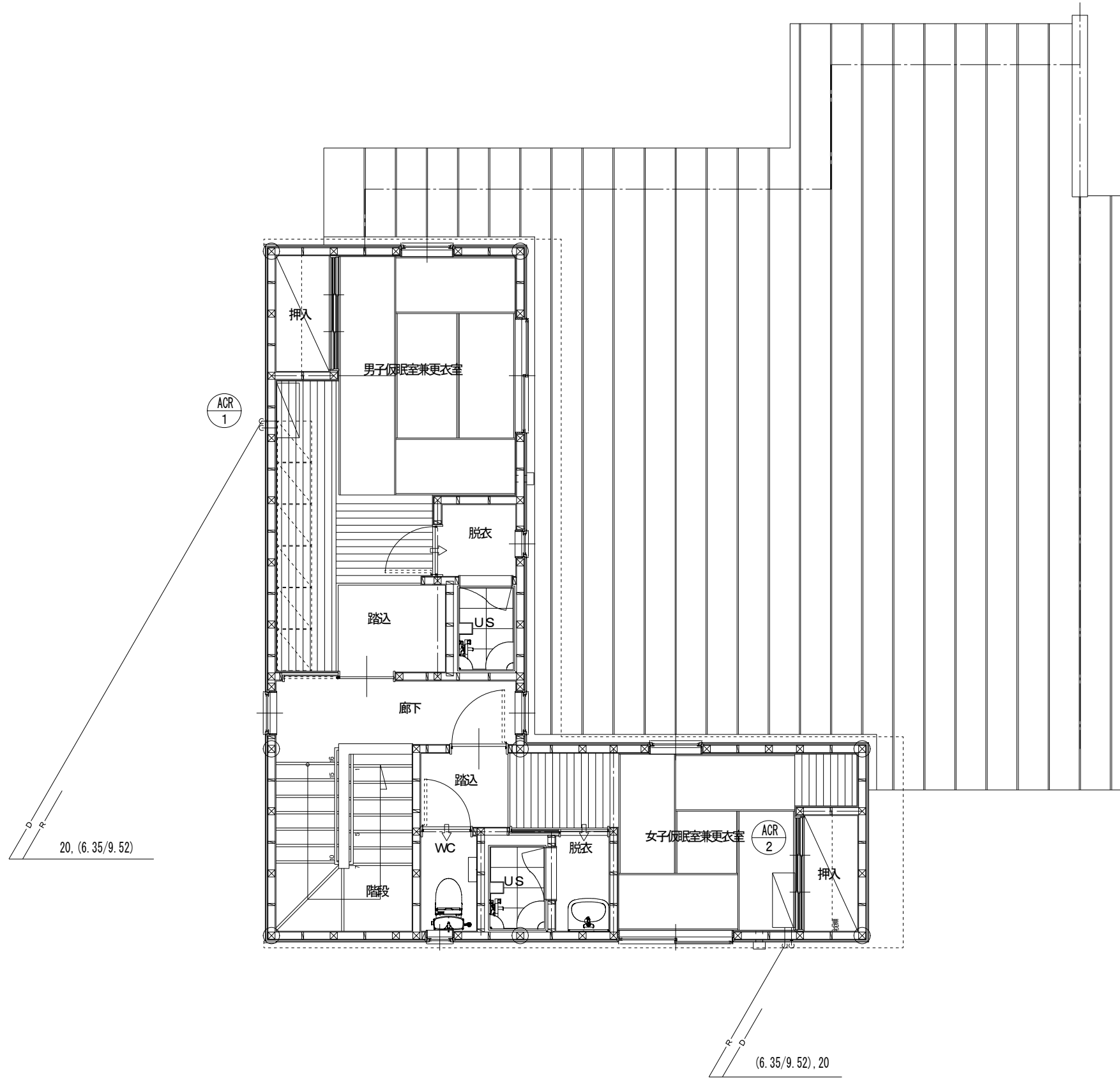
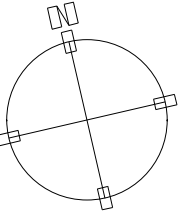
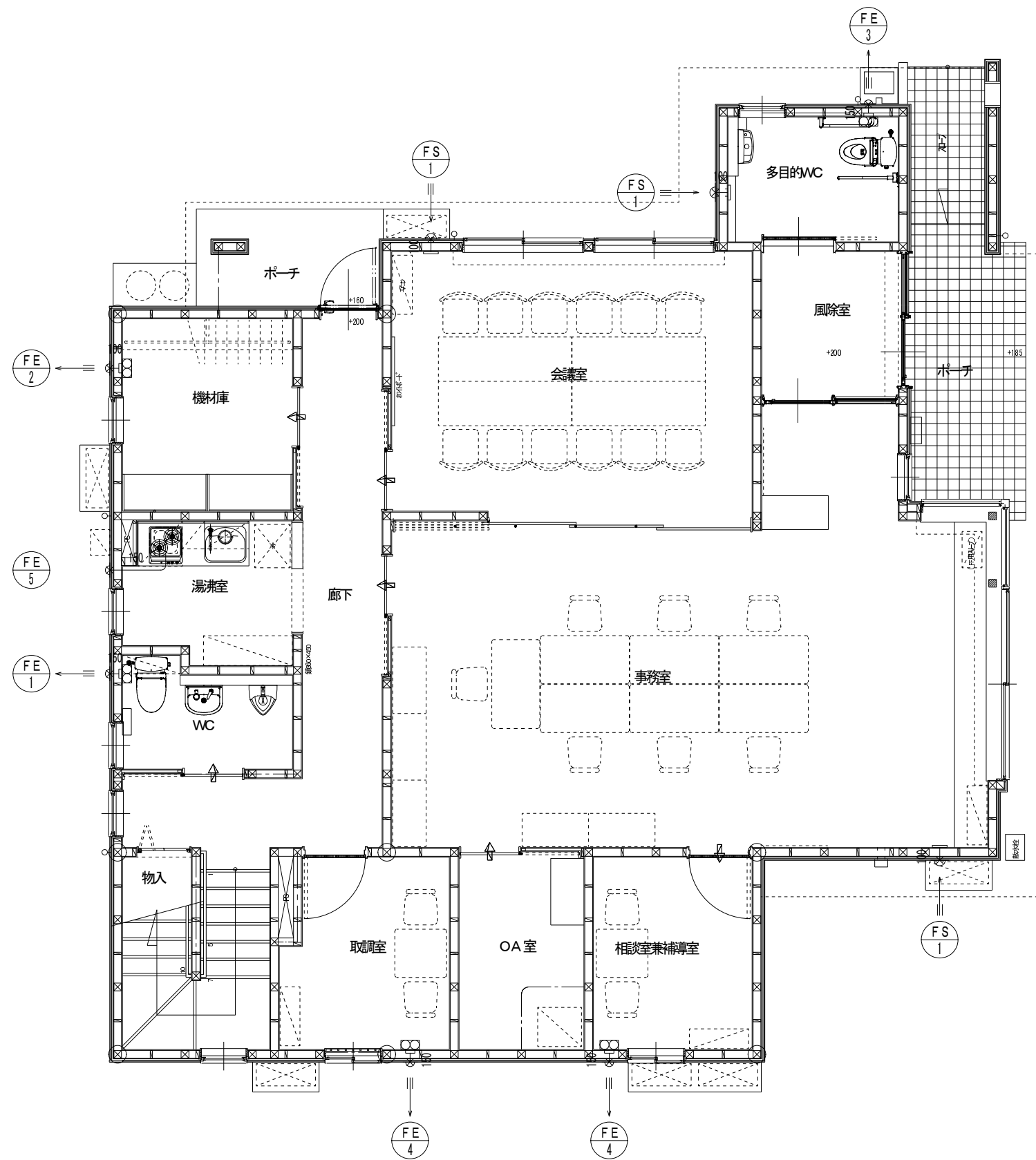
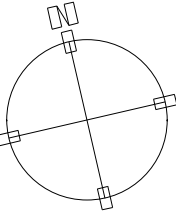
記　　号	品　　　　名	仕　　　　様	計
ＡＣＲ－１	ルームエアコン	壁掛（暖房）形　冷房能力２．８ＫＷ　暖房能力４．２ＫＷ　消費電力単相２００Ｖ－２．７ＫＷ　ワイヤレスリモコン（ホルダー共）　吹出口防雪フード　コンクリート基礎　その他付属品一式	4
ＡＣＲ－２	ルームエアコン	壁掛（暖房）形　冷房能力２．５ＫＷ　暖房能力３．６ＫＷ　消費電力単相２００Ｖ－２．６ＫＷ　ワイヤレスリモコン（ホルダー共）　吹出口防雪フード　コンクリート基礎　その他付属品一式	3
ＤＢ：　浸透桝（ＭＨＢ－３００ＨＰ－１Ｍ）			

換気設備　機器表

記　　号	品　　　　名	仕　　　　様	計
ＦＥ－１	パイプファン	常時換気用　格子ルーバー形　電気式高気密シャッター　有効換気量96ｍ３／Ｈ　消費電力100Ｖ-7W　深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）150φ　専用スイッチ（電気設備へ支給）	1
ＦＥ－２	パイプファン	常時換気用　インテリアパネル形　電気式高気密シャッター　有効換気量34ｍ３／Ｈ　消費電力100Ｖ-3W　深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）100φ　専用スイッチ（電気設備へ支給）	3
ＦＥ－３	パイプファン	人感センサー付　電気式高気密シャッター　有効換気量103ｍ３／Ｈ　消費電力100Ｖ-7W　深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）150φ	1
ＦＥ－４	パイプファン	格子ルーバー形　電気式高気密シャッター　有効換気量96ｍ３／Ｈ　消費電力100Ｖ-7W　深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）150φ	2
ＦＥ－５	レンジフードファン	台所用（建築工事）　ダクト・深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）150φ（本工事）	1
ＦＥ－６	浴室用換気扇	浴室用（建築工事）　ダクト・深型パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）100φ（本工事）	2
ＦＥ－７	一般換気扇	スタンダードタイプ　遠隔操作式　20㎝ 電気式高気密シャッター　換気風量564ｍ３／Ｈ　消費電力100Ｖ-16W　屋外フード（ＳＵＳ、防虫網付）　取付枠	1
ＦＳ－１	給気グリル	壁用　100φ用　風量調節・フィルター付　深形パイプフード（ＳＵＳ、防虫網付）100φ	5

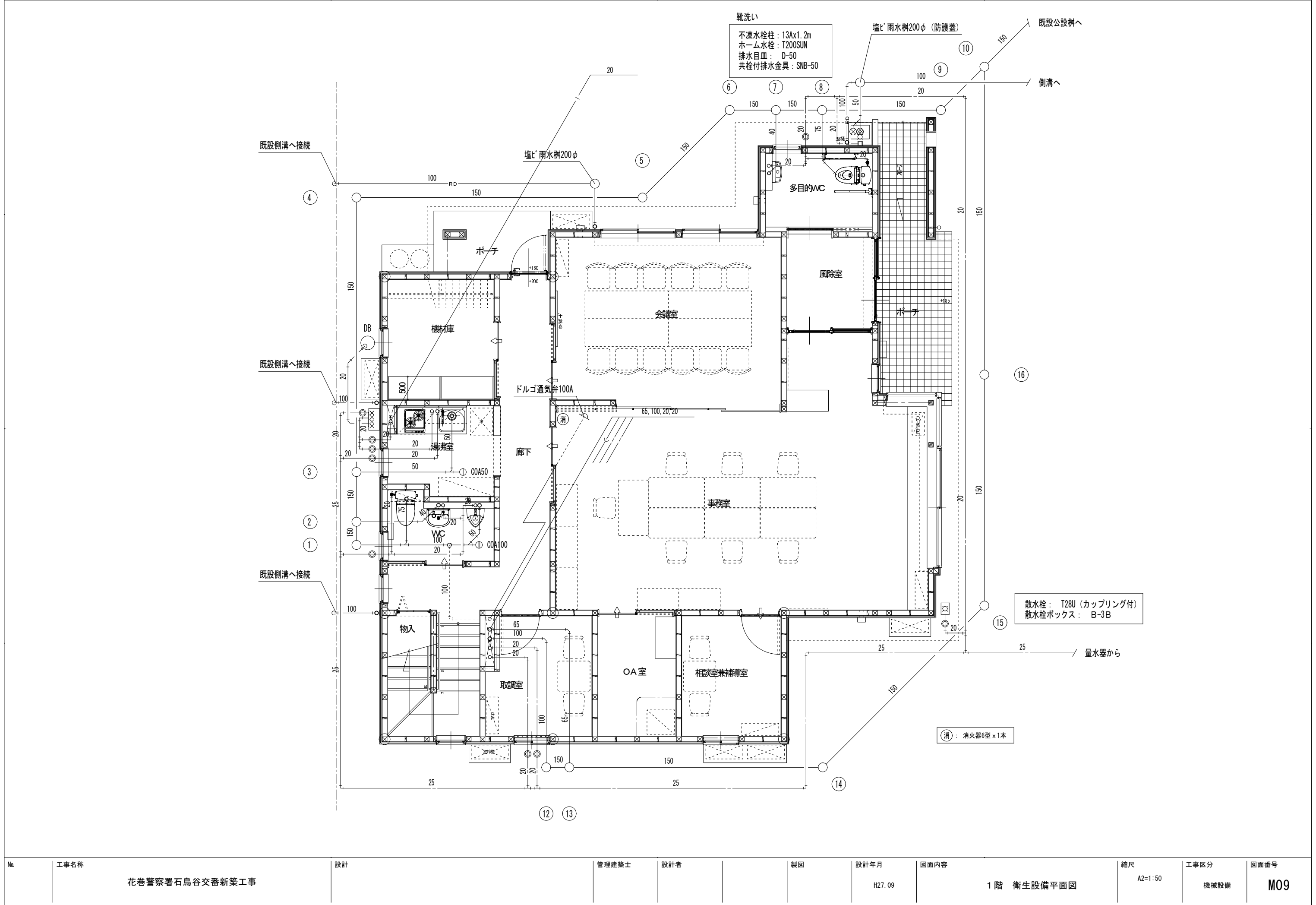
常時換気量表　（天井高さ３．５未満－０．３回数）

室　　　名	床面積（ｍ2）	天井高（ｍ）	気積（ｍ3）	必要換気風量（ｍ３／Ｈ）	換気種別	換気扇記号	台数	設計換気風量（ｍ３／Ｈ）	設計換気回数（回／Ｈ）
会議室	18.22	2.50	45.55						
事務室	40.35	2.50	100.88						
廊下	11.38	2.50	28.45						
機材庫	6.63	2.50	16.58						
ＷＣ	3.65	2.50	9.13						
		合計	200.59	60.18	第3種	ＦＥ-１ ＦＥ-２	各１	130.0	0.65
女子仮眠室兼更衣室	9.93	2.40	23.83						
踏込み	1.84	2.50	4.60						
ＷＣ	1.44	2.50	3.60						
		合計	32.03	9.61	第3種	ＦＥ-２	１	34.0	1.06
男子仮眠室兼更衣室	15.73	2.40	37.75	11.32	第3種	ＦＥ-２	１	34.0	0.90

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	空調・換気設備　機器表	A2=---	機械設備	M03

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者	製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事					H27.09	1階　空調設備平面図	A2=1:50	機械設備	M04

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	2階　空調設備平面図	A2=1:50	機械設備	M05

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	1階　換気設備平面図	A2=1:50	機械設備	M06

器 具 表

品　　　　名	仕　　　　様　　（型番は参考型番）	１Ｆ	２Ｆ	計
洋風便器	CS670B　SS670BNML　TCF6531AM（洗浄便座）　YT410　YH701	1		1
洋風便器	CS670B　SS671BNML　TCF6531AM（洗浄便座）　YT410　YH701		1	1
車椅子対応便器	CS20AB　SH30BA　TCF4721AMV86PA　YT410　YH701	1		1
小便器	UFS800CE	1		1
壁掛洗面器	L210C TENA41A T7PW1 TL250D	1		1
壁掛洗面器	L250CM TENA41A T7PW1 TL250D		1	1
コンパクト手洗器	LSK870AP	1		1
化粧鏡	YM3545A	3	1	4
手すり	T112HK8	1		1
手すり	T112CL10	1		1
水抜栓	MT 20Ａｘ400Ｈ　電動駆動モーター　B1-150VP	6		6
湯抜栓	MT 20Ａｘ400Ｈ　電動駆動モーター　B1-150VP	2		2
電動水抜操作盤	１回路　（配線工事は本工事）	3	1	4
電動水抜操作盤	２回路　（配線工事は本工事）	1	1	2
ガス給湯機	給湯専用　高効率95%　屋外壁掛形　24号　ガス消費量44.2KW　消費電力100V-197W（ヒーター作動時）　メインリモコン　配管カバー GV20（給水）　吸気弁20Ax2（給水、給湯）　凍結防止ヒーター2mx30Wx2（給水、給湯）　可とう管コック（ガス）		1	1
ユニットシャワー、システムキッチンは別途建築工事				

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者	製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事					H27.09	衛生設備　器具表	A2=---	機械設備	M08

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者	製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事					H27.09	1階　衛生設備平面図	A2=1:50	機械設備	M09

押入

男子仮眠室兼更衣室

20

脱衣

ドルゴ通気弁100A
ドルゴ通気弁65A

100,65

踏込

US

20

20

消

廊下

20

20

50

65

65

65

COA65

低位通気弁50A

100

50

女子仮眠室兼更衣室

75

20

20

US

20

40

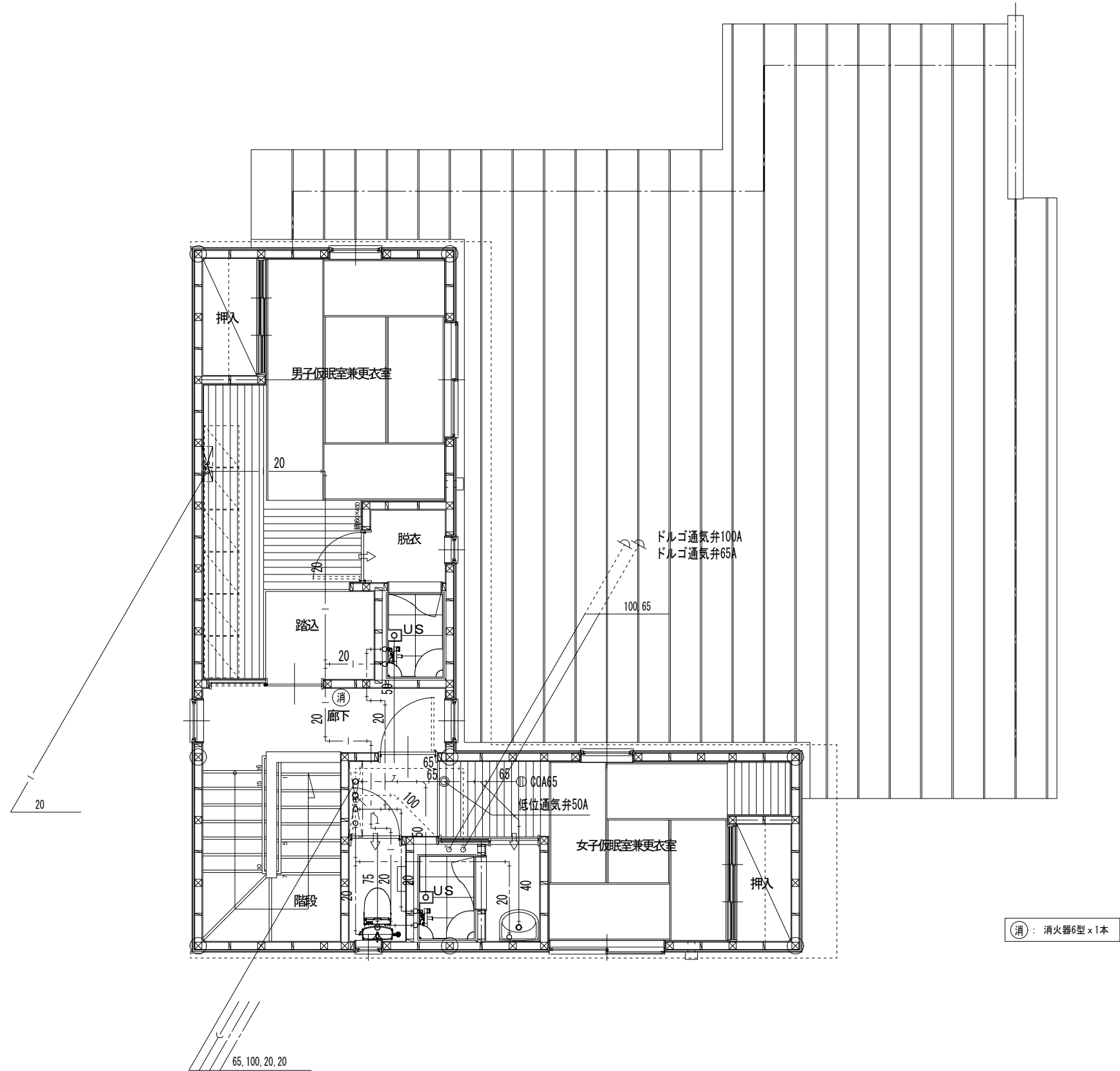
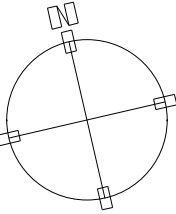
押入

階段

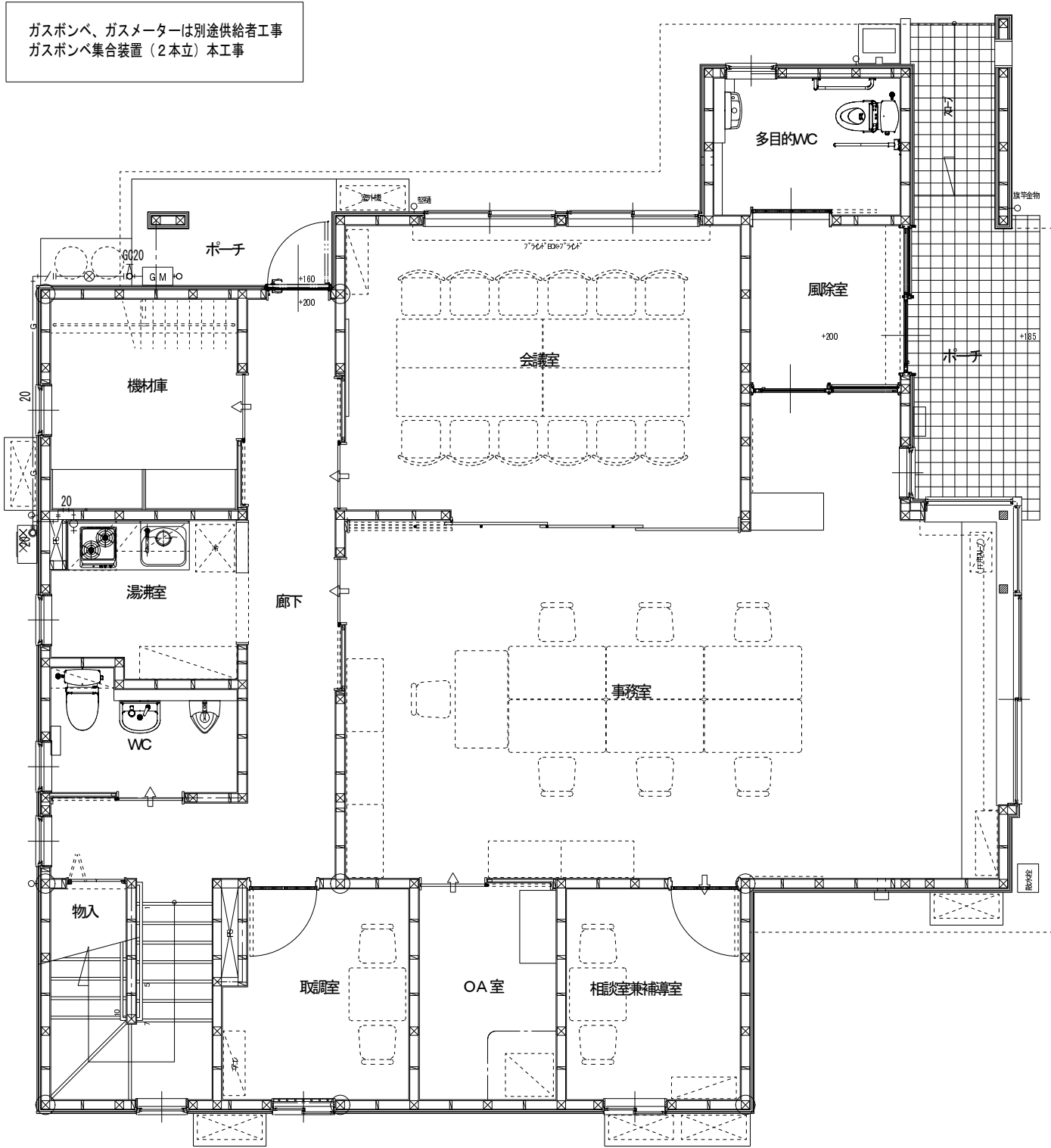
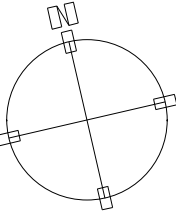
20

20

65,100,20,20

消 : 消火器6型 x 1本

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	2階　衛生設備平面図	A2=1:50	機械設備	M10

ガスボンベ、ガスメーターは別途供給者工事
ガスボンベ集合装置（2本立）本工事

ポーチ
GG20
G M
+160
+200
機材庫
湯沸室
廊下
WC
物入
会議室
多目的WC
風除室
+200
ポーチ
+185
事務室
取調室
OA 室
相談室兼補導室

No.	工事名称	設計	管理建築士	設計者		製図	設計年月	図面内容	縮尺	工事区分	図面番号
	花巻警察署石鳥谷交番新築工事						H27.09	1階　ガス設備平面図	A2=1:50	機械設備	M11